

# コーポレート・ハイブリッド 証券ファンド (為替ヘッジあり) 2016-11 (愛称:メジャー・カンパニーズ16-11)

## 運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2020年11月30日)  
(作成対象期間 2020年9月15日~2020年11月30日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	単位型投信/内外/その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	約4年間 (2016年11月30日~2020年11月30日)	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>の受益証券
	ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>	イ. 世界の企業 (金融機関を除きます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債および優先証券) ロ. 世界の企業 (金融機関を除きます。) が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、基準価額の水準および経費控除後の配当等収益の水準等を勘案し、元本超過額の範囲内で分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 回 り	公 社 債 組 入 比 率	元 残 存 本 率
	( 分 配 落 )	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率			
設 定 (2016年11月30日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期 末 (2017年 3月14日)	10,172	30	202	2.0	7.0	95.7	98.0
2 期 末 (2017年 9月14日)	10,441	45	314	3.1	6.5	98.7	84.1
3 期 末 (2018年 3月14日)	10,528	45	132	1.3	5.0	97.1	75.5
4 期 末 (2018年 9月14日)	10,401	45	△ 82	△ 0.8	3.2	98.0	67.3
5 期 末 (2019年 3月14日)	10,378	45	22	0.2	2.6	95.9	59.1
6 期 末 (2019年 9月17日)	10,352	45	19	0.2	2.2	97.8	48.9
7 期 末 (2020年 3月16日)	10,167	45	△ 140	△ 1.4	1.4	61.1	45.8
8 期 末 (2020年 9月14日)	10,171	55	59	0.6	1.4	32.8	43.2
償 還 (2020年11月30日)	10,152.54	—	△ 18.46	△ 0.2	1.3	—	40.4

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

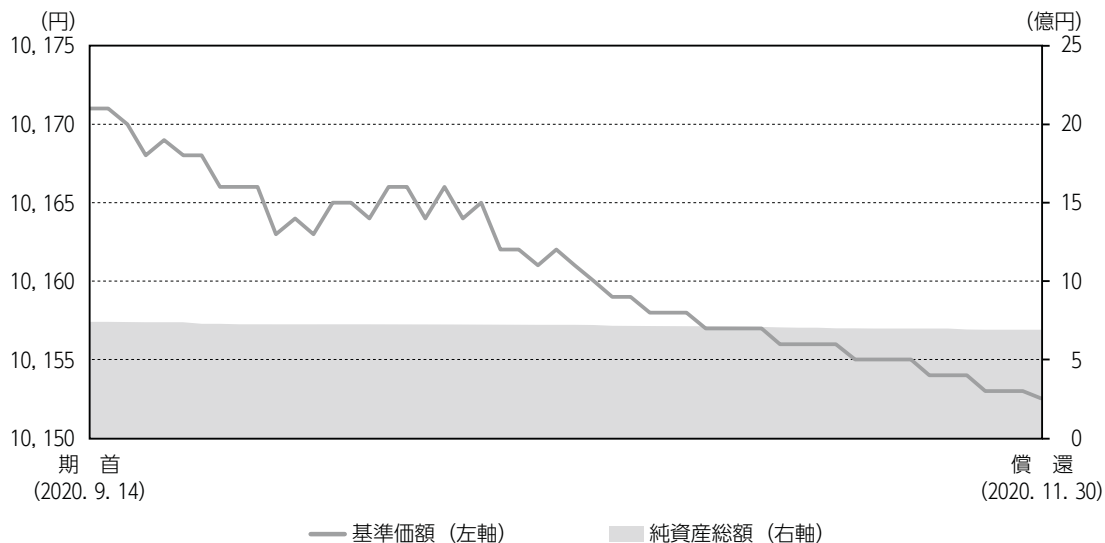
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,152円54銭（既払分配金355円）

騰落率：5.1%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を通じて、主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入などを反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり） 2016-11

年 月 日	基 準 価 額		公 組 入 社 比 債 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2020年 9月14日	10,171	—	32.8
9月末	10,163	△ 0.1	32.4
10月末	10,158	△ 0.1	—
(償 還) 2020年11月30日	10,152.54	△ 0.2	—

(注) 騰落率は期首比。

## 設定以来の投資環境について

(2016. 11. 30 ~ 2020. 11. 30)

### ■海外債券市況

海外債券市況では、金利は低下しました。

当ファンド設定時より、英国のEU（欧州連合）離脱に対する警戒感などを背景に主要国の国債金利が低下する中、社債金利は日銀やECB（欧州中央銀行）による新たな金融緩和策の影響もあり、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小を伴って低下しました。2016年後半には、米国大統領選挙で勝利したトランプ氏の経済政策に対する期待感から、国債金利に連れて社債金利も大きく上昇しました。2017年に入ると、トランプ政権の政策実行能力への懸念や北朝鮮情勢への警戒感などが、金利上昇を抑制する要因となりました。2017年9月以降は、FRB（米国連邦準備制度理事会）が継続的な利上げ実施を示唆する中、バランスシートの縮小開始を決定したこともあり、社債金利は国債金利とともに上昇基調となりました。しかし2018年12月からは、米国の金融政策の方向性が緩和に転じ利下げが実行されたことや、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示して米中通商協議への懸念が強まったことを受け、社債金利は国債金利とともに低下しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の減速懸念の高まりから、国債金利は低下したものの社債のスプレッドは大幅に拡大し、金利は上昇しました。しかし、主要各国の政策当局が金融機関や企業の資金繰りに関して大規模な支援策を金融・財政の両面から打ち出して信用収縮への懸念を抑え込んだことから、社債のスプレッドは縮小し、金利は低下しました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

### ■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2016. 11. 30 ~ 2020. 11. 30)

### ■当ファンド

「ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>」の受益証券を高位に組み入れました。

### ■ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

1万口当り、第1期30円、第2期～第7期各45円、第8期55円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 9. 15~2020. 11. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0. 164%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 161円です。
（投信会社）	(4)	(0. 040)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0. 116)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 008)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	17	0. 164	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

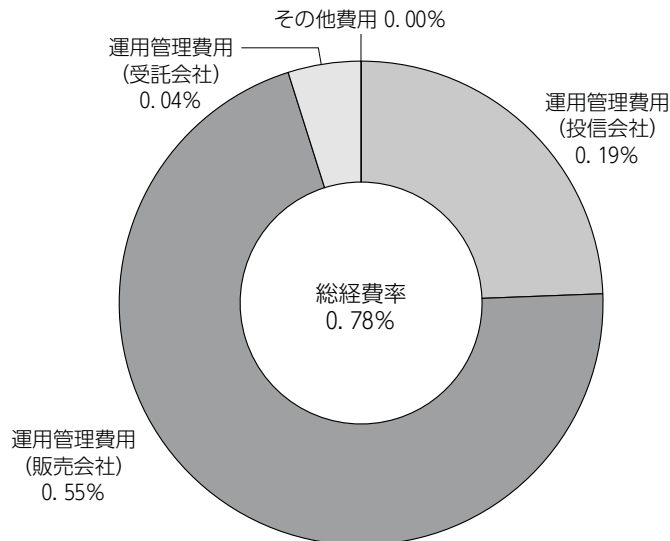
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.78%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。



■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年9月15日から2020年11月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>	—	—	437,478	489,472

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
	千口
ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>	437,478

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月30日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	691,885	100.0
投資信託財産総額	691,885	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月30日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	691,885,055円
コール・ローン等	691,885,055
(B) 負債	1,141,464
未払信託報酬	1,140,868
未払利息	596
(C) 純資産総額 (A - B)	690,743,591
元本	680,365,092
償還差損益金	10,378,499
(D) 受益権総口数	680,365,092口
1万口当り償還価額 (C / D)	10,152円54銭

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は10,152円54銭です。

■損益の状況

当期 自2020年9月15日 至2020年11月30日

項 目	当 期	
(A) 配当等収益	△	33,344円
受取利息		657
支払利息	△	34,001
(B) 有価証券売買損益		44,031,241
売買益		44,031,241
(C) 有価証券評価差損益	△	44,141,397
(D) 信託報酬等	△	1,185,086
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	△	1,328,586
(F) 前期繰越損益金		12,480,806
(G) 解約差損益金	△	773,721
(H) 合計 (E + F + G)		10,378,499
償還差損益金 (H)		10,378,499

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年11月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年11月30日		資産総額	691,885,055円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	1,141,464円
				純資産総額	690,743,591円
受益権口数	1,683,342,732口	680,365,092口	△ 1,002,977,640口	受益権口数	680,365,092口
元本額	1,683,342,732円	680,365,092円	△ 1,002,977,640円	1単位当り償還金	10,152円54銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	1,649,779,037	1,678,103,444	10,172	30	0.30
第2期	1,417,209,644	1,479,670,670	10,441	45	0.45
第3期	1,271,373,635	1,338,505,971	10,528	45	0.45
第4期	1,133,118,723	1,178,523,560	10,401	45	0.45
第5期	996,522,769	1,034,161,096	10,378	45	0.45
第6期	824,008,791	853,009,136	10,352	45	0.45
第7期	771,446,496	784,360,955	10,167	45	0.45
第8期	728,515,324	740,996,130	10,171	55	0.55
信託期間中1単位当り総収益金および年平均収益率				507円54銭	1.27%

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ

1万口当り償還金

10,152円54銭

# ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券 マザーファンド<<2020-12>>

## 運用報告書 第8期 (決算日 2020年9月14日)

(作成対象期間 2020年3月17日～2020年9月14日)

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>の運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	イ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券） ロ. 世界の企業（金融機関を除きます。）が発行する普通社債 ハ. 先進国の国債
株式組入制限	無制限

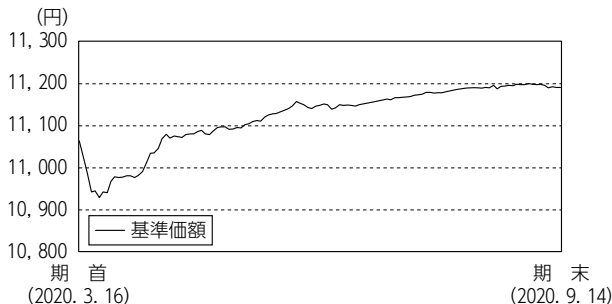
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		騰落率	公社債組入比率
	円	%		
(期首) 2020年3月16日	11,063	—	—	61.3
3月末	10,976	△	0.8	61.9
4月末	11,088		0.2	78.0
5月末	11,128		0.6	79.1
6月末	11,150		0.8	63.3
7月末	11,178		1.0	64.8
8月末	11,197		1.2	88.1
(期末) 2020年9月14日	11,191		1.2	49.6

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・騰落率】

期首：11,063円 期末：11,191円 騰落率：1.2%

## 【基準価額の主な変動要因】

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や金利の低下（債券価格の上昇）などを反映し、基準価額は上昇しました。

## ◆投資環境について

## ○海外債券市況

海外債券市況では、ドイツの国債金利は上昇（債券価格は下落）したものの、英国の国債金利は低下しました。

当作成期首より、投資家のリスク資産からの逃避が進み現金需要が高まったことを背景に、国債金利は上昇しました。その後は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が高まったことやECB（欧州中央銀行）およびBOE（イングランド銀行）の緩和的な政策などを背景に、国債金利の低下圧力は強まりました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、ECBやBOEの緩和的な政策を背景にスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小し、多

くの銘柄の金利は低下しました。

## ◆前作成期末における「今後の運用方針」

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## ◆ポートフォリオについて

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。業種構成は、業績の安定性や債券の流動性などを勘案し、主な発行業種である公益セクターを軸とし、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持しました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 《今後の運用方針》

主として世界の企業が発行するハイブリッド証券に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。業種別では公益セクターを軸に、当ファンドの信託期間内にコール（繰上償還）等が見込まれる銘柄の組み入れを維持することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	0 (0)
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況

## 公 社 債

(2020年3月17日から2020年9月14日まで)

		買付額	売付額
外 国	イギリス	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド — ( 5,600)
	ユーロ (フランス)	千ユーロ —	千ユーロ — ( 2,300)
	ユーロ (イタリア)	千ユーロ 2,502	千ユーロ — ( —)
	ユーロ (その他)	千ユーロ 1,995	千ユーロ — ( 4,004)
	ユーロ (ユーロ 通貨計)	国債証券	千ユーロ 2,502
社債券		千ユーロ 1,995	千ユーロ — ( 6,304)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

## 公 社 債

(2020年3月17日から2020年9月14日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Takeda Pharmaceutical Co Ltd (日本) 0.375% 2020/11/21	231,454		
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 0.65% 2020/11/1	151,071		
ITALIAN GOVERNMENT BOND (イタリア) 0.2% 2020/10/15	139,211		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

ヘッジ付グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-12>>

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		評 価 額				5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,400	千アメリカ・ドル 2,413	千円 256,294	12.6 %	— %	12.6 %	— %	— %
ユーロ （フランス）	千ユーロ 1,900	千ユーロ 1,911	240,291	11.8	—	11.8	—	—
ユーロ （ドイツ）	千ユーロ 1,600	千ユーロ 1,602	201,480	9.9	9.9	9.9	—	—
ユーロ （イタリア）	千ユーロ 2,500	千ユーロ 2,502	314,536	15.4	—	—	—	15.4
ユーロ （小計）	千ユーロ 6,000	千ユーロ 6,017	756,307	37.1	—	21.6	—	15.4
合 計	—	—	1,012,602	49.6	9.9	34.2	—	15.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	BHP Billiton Finance USA Ltd	社債券	6.2500 %	千アメリカ・ドル 2,400	千アメリカ・ドル 2,413	千円 256,294	2075/10/19
通貨小計	銘柄数 金額	1銘柄		2,400	2,413	256,294	
ユーロ（フランス）	Arkema SA	社債券	4.7500	千ユーロ 1,900	千ユーロ 1,911	240,291	永久債
国小計	銘柄数 金額	1銘柄		1,900	1,911	240,291	
ユーロ（ドイツ）	RWE AG	社債券	2.7500	千ユーロ 1,600	千ユーロ 1,602	201,480	2075/04/21
国小計	銘柄数 金額	1銘柄		1,600	1,602	201,480	
ユーロ（イタリア）	ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	0.6500	千ユーロ 1,300	千ユーロ 1,301	163,638	2020/11/01
	ITALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	0.2000	千ユーロ 1,200	千ユーロ 1,200	150,897	2020/10/15
国小計	銘柄数 金額	2銘柄		2,500	2,502	314,536	
通貨小計	銘柄数 金額	4銘柄		6,000	6,017	756,307	
合 計	銘柄数 金額	5銘柄				1,012,602	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2020年9月14日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,012,602	49.6
コール・ローン等、その他	1,028,111	50.4
投資信託財産総額	2,040,714	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月14日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.18円、1イギリス・ポンド=135.88円、1ユーロ=125.69円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,011,954千円)の投資信託財産総額(2,040,714千円)に対する比率は、98.6%です。

## ■損益の状況

当期 自2020年3月17日 至2020年9月14日

項 目	当 期
(A)配当等収益	42,102,988円
受取利息	43,653,711
支払利息	△ 1,550,723
(B)有価証券売買損益	△ 6,477,370
売買益	283,473,837
売買損	△ 289,951,207
(C)その他費用	△ 115,765
(D)当期損益金 (A+B+C)	35,509,853
(E)前期繰越損益金	302,052,008
(F)解約差損益金	△ 120,449,813
(G)合計 (D+E+F)	217,112,048
次期繰越損益金 (G)	217,112,048

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月14日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	4,043,764,893円
コール・ローン等	980,025,656
公社債(評価額)	1,012,602,637
未収入金	2,029,196,630
未収利息	21,904,520
前払費用	35,450
(B)負債	2,003,050,815
未払金	2,003,050,800
その他未払費用	15
(C)純資産総額 (A-B)	2,040,714,078
元本	1,823,602,030
次期繰越損益金	217,112,048
(D)受益権総口数	1,823,602,030口
1万口当り基準価額 (C/D)	11,191円

\* 期首における元本額は2,840,352,217円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,016,750,187円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-11 437,478,855円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2017-01 303,495,107円、ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)2016-09 1,082,628,068円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,191円です。